

こやす なかがわら  
子易・中川原遺跡

伊勢原市No.123

- 調査期間** 2012年9月16日～調査中
- 所在地** 伊勢原市子易
- 時代** 近世、中世、奈良・平安時代、古墳  
弥生、縄文、旧石器
- 調査原因** 中日本高速道路株式会社による新東  
名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化  
財発掘調査
- 遺跡位置** 小田急小田原線伊勢原駅の北西約  
3.5 km



### 主な調査成果

2012年度から継続して調査を実施しています。2016年度は、中世寺院跡と池状遺構の調査を実施し(1-1・1-2・1-4a・3a 工区)、中世寺院跡では3×4間の礎石建物跡(本堂)と2×3間の礎石建物跡(付帯建物)および2×3間の掘立柱建物跡(付帯建物)などが検出されました。池状遺構では、池の堤(堰堤)が発見されています。標高の下がった調査区(4-2 工区西)では、縄文時代中期後葉～後期中葉の集落跡の調査を実施し、約200㎡の狭い範囲に15軒もの住居跡が重複していることが確認されています。2018年度は、池状遺構の続き(3b・3c 工区)や中世の屋敷跡(6-2・6-3 工区)の調査を実施しています。



中世の礎石建物跡(寺院跡、東から)



中世の池状遺構(北から)



縄文後期前葉～中葉の集落跡(西から)



縄文後期前葉の敷石住居址(東から)